

1. 科目名 (単位数)	心理的アセスメントに関する理論と実践 (2 単位)	3. 科目番号	PSMP5187
2. 授業担当教員	武内 智弥		
4. 授業形態	演習	5. 開講学期	春期
6. 履修条件・他科目との関係	履修条件は特になし	履修形態 (通信教育)	
7. 講義概要	<p>心理的アセスメントという用語は心理検査のみを指す訳ではないが、他の授業において観察や面接における心理的アセスメントについて扱う機会はあるものの、心理検査については、他の授業では扱いきれないと思われる。そのため、この授業では、代表的な心理検査を中心に、被検査者その人らしさをどのように捉え、まとめるかといったことを通じて、心理的アセスメントについて学ぶ。</p> <p>授業は、事例の解釈を中心に進めるため、比較的本から学びやすい各心理検査の理論的背景やマニュアル的な実施方法などについて、一つ一つを授業で採り上げるようなことはせず、心理検査という刺激に対して、被検査者が示した反応から、そこにどのような体験があったのかを想像するという心理的アセスメントの観点や技術の基礎について経験できるように計画している。</p> <p>こうした内容で授業を行うために、扱う心理検査の数を絞り、質問紙法、文章完成法、Wechsler 式知能検査、ロールシャッハテストの 4 検査のみを扱うこととする。</p> <p>また、現場で心理検査を実施した場合には、必ずフィードバックのことを考える必要があり、検査結果と解釈を含めた所見を書く必要があるため、これらについても扱う。</p>		
8. 学習目標	心理的アセスメントの中でも、特に心理検査法に焦点をあてる。事例の検討を行うことによって、心理的アセスメントの基礎的な技術を習得することを目指す。		
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	<ul style="list-style-type: none"> <li>各心理検査のマニュアルは事前に読み込んでおくこと</li> <li>授業時間外にてテスター役割をとって、心理検査を実施し、その結果を発表すること</li> <li>授業時間外にてテスター役割をとって、複数の心理検査を実施しそれらの結果と解釈を含めた所見を作成すること</li> </ul>		
10. 教科書・参考書・教材	<p>【教科書】 特に指定しない</p> <p>【参考書】 津川律子・篠竹利和 (2010). シナリオで学ぶ医療現場の臨床心理検査 誠信書房</p> <p>スティーブン E フィン (2014). 治療的アセスメントの理論と実践 金剛出版</p> <p>※その他、事例など、必要に応じて題材を配布する。</p>		
11. 成績評価の規準と評定の方法	<p>○成績評価の規準</p> <p>各心理検査の基本的な実施方法について理解している</p> <p>刺激に対する反応から、その人が何を体験したのかについて、想像することができる</p> <p>被検査者の反応から得た、自分の理解を表現すること・振り返ることができる</p> <p>結果について文章にまとめることができる</p> <p>○評定の方法</p> <p>授業態度・授業への参加度 70%</p> <p>心理的アセスメントに関するレポート 30%</p>		
12. 受講生へのメッセージ	<p>心理検査は現場によって全く行わない場合もあるが、心理検査の結果からその人らしさを考えることは、心理面接においてその人らしさを考えるプロセスと同じものがあり、心理職として身につけておきたい要素が詰まっています。</p> <p>心理職としては、決めつけずに幅広い可能性を考えつつも、その人らしさという妥当な判断を行い、根拠をもってそれを説明 (記述) し、被検査者や依頼者に、心理的落ち着きや希望をもってもらえるようにありたいものです。ただ、そうなるまでには、かなりの研鑽が必要であり、その一端を経験できるように、授業時間以外にも多くの時間を費やして学んでください。</p>		
13. オフィスアワー	初回授業にて連絡する		
14. 学習の展開及び内容【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1～2. テーマ	自己記入式の心理検査の読み方とまとめ方		
【学習の目標】	自己記入式の質問紙法と文章完成法 (SCT) の基本的な読み方とまとめ方について理解する。		
【学習の内容】	質問紙法の事例、文章完成法の事例から、その人らしさを検討する。		
【キーワード】	自己記入式の心理検査、文章完成法		
【学習の課題】	書かれていることを整理するだけでなく、その人らしさ像を思い描くことができるか。		
【参考 文献】	<p>東京大学医学部心療内科 TEG 研究会 (編) (2006). 新版 TEG2 解説とエゴグラム・パターン 金子書房</p> <p>佐野勝男・榎田仁 (1972). 精研式文章完成法テスト解説 (成人用) 金子書房</p> <p>伊藤隆一 (2012). SCT (精研式文章完成法テスト) 活用ガイド 金子書房</p>		
3～7. テーマ	Wechsler 式 知能検査の読み方とポイント		
【学習の目標】	Wechsler 式 知能検査の基本的な読み方とポイントについて理解する。		
【学習の内容】	WAIS 等の事例から、その人らしさを検討する (事例 1 の解釈 2 回、実施のポイント 1 回、事例 2 の解釈 2 回の計 5 回を予定)		
【キーワード】	知能検査、WAIS、WISC、知能、知能指数、発達障害		
【学習の課題】	能力や対処スタイルから、その人らしさや、その人の日常でのパフォーマンスを想像することができるか。		
【参考 文献】	<p>藤田和弘ら (編著) (2011). 日本版 WAIS-III の解釈事例と臨床研究</p> <p>D.P. フラナガン・A.S. カウフマン (2014). エッセンシャルズ WISC-IV による心理アセスメント 日本文化科学社 (WAIS III, WISC IV, WAIS IV の実施採点マニュアル, 理論解釈マニュアル)</p>		

8～13.テーマ	ロールシャッハテストの見方とポイント
【学習の目標】	ロールシャッハテストの基本的な読み方とポイントについて理解する。
【学習の内容】	ロールシャッハテストの事例から、その人らしさを検討する（ロールシャッハテストでの目の付け所について 1 回、事例 1 の解釈 2 回、実施のポイント 1 回、事例 2 の解釈 2 回の計 6 回を予定）
【キーワード】	ロールシャッハテスト、防衛機制、パーソナリティ水準、思考障害、鑑別診断補助
【学習の課題】	ロールシャッハテストから得られる非常に多くの情報量から、その人の気持ちの動きを想像することができるか。
【参考 文献】	片口安史 (1987). 新心理診断法 金子書房 馬場禮子 (編) (2017). 力動的心理査定 岩崎学術出版社 J.E.エクスナー (2009). ロールシャッハ・テスト 包括システムの基礎と解釈の原理 金剛出版
14～15.テーマ	所見とフィードバック
【学習の目標】	心理検査の所見の書き方とフィードバックの仕方の基本について理解する。
【学習の内容】	心理検査所見とフィードバックのポイント、取り組む姿勢について検討する。
【キーワード】	検査所見、フィードバック
【学習の課題】	自分が捉えたその人らしさを正確にということだけでなく、その人が傷つかないように表現できるか、という点も重要である。
【参考 文献】	E.O.リヒテンバーガーら (2008). エssenシャルズ 心理アセスメントレポートの書き方 日本文化科学社 竹内 健児 (編) (2009). 事例でわかる心理検査の伝え方・活かし方 金剛出版 S.E.フィン (2014) 治療的アセスメントの理論と実践 金剛出版